

CONTENTS

02

特集 ありがとうそしてさようなら 三江線の思い出

- 06 「統計の日」の標語募集
- 07 行政情報
- 09 上水道・下水道の今、そしてこれから 新しい小学校が誕生します
- 10 式敷三次線路線バス運行内容
- 11 児童・生徒自画像展 入賞・入選作品発表
- 12 健康いいカラダ
- 14 いきいき介護
- 16 もっと知りたい民生委員のこと
- 18 HOTな話題
- 19 リレーコラム 専業農家 角田 孝志さん
- 20 げんきな親子
- 22 警察 違う文化から日本を考える
- 23 消防
- 24 歴史紀行
- 25 トピックス／募集
- 26 およろこび・おくやみ
- 27 3月の相談
- 28 生まれ!安芸高田のアイドル



(今月の表紙) 式敷・口羽間開通日の式敷駅 昭和38年(1963)6月30日 撮影:三上茂

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎ お太助フォン 42-2111 (代)
 八千代支所 ☎ お太助フォン 52-2111
 美土里支所 ☎ お太助フォン 54-0311
 高宮支所 ☎ お太助フォン 57-0311
 甲田支所 ☎ お太助フォン 45-4111
 向原支所 ☎ お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8:30~17:15
 (土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市ホームページ
<http://www.akitakata.jp>



2015年11月号の表紙を飾った女子高生は今

当時、高校3年生だった松川萌香さんは、帰宅するためいつものように列車に乗り込みました。しばらく経って声をかけてきたのが市の広報担当。「写真をとってもいいかと聞かれ、ほかにも高校生が乗っていたし、この日に限っていつも一緒に友人がいなくて一度はお断りしたんです。それでも熱心に声をかけてもらい最後は『顔があまり映らないなら』とOKしました。発刊された時は友人や先輩が盛り上げてくれましたが、自分はなんだか冷静だったのを覚えています。もちろん今ではいい思い出です」と、笑みを浮かべながら当時を振り返ってくれました。

松川さんは実家のある高宮から三次高校に通うため、3年間、式敷駅から三次駅を利用していました。列車での通学は小学校からの友人2人といつも一緒。朝は学校のミニテストに備え3人で黙々と勉強、帰りはワイワイおしゃべりをするのが毎日の日課。列車の中で一緒に泣いたり、笑ったり。列車通学の思い出は親友たちとの思い出でもあります。「高校では同じクラスになれませんでした。ずっと仲良くしてこられたのは三江線のおかげ。今でも友人に会うと列車の思い出話に花が咲きます」。

高校3年生だった松川さんも今は広島市内の大学に通う大学生になりました。現在の住まいは安佐北区にある祖母の家。「祖母はまだ一度も三江線に乗ったことがないんです。実は私も式敷駅と三次駅間しか乗ったことがありません。春休みを利用して祖母と一緒に三江線の全線に乗ってみようと思います」と語ってくれました。利用者の数だけ思い出がある。三江線はこれからもみんなの心の中で走り続けます。



松川 萌香さん

子どもの頃から馴染みのあった三江線が廃線になると聞き、口を揃えて「さびしい…」と語った3人の会長。思い出話からこれからのことまで、3人で気兼ねなく話していただきました。



座談会

三江線の思い出 そしてこれからの語る

辻駒さん 残念だねえ。それにしても廃止になるって発表があつてからの三江線人気は凄いな。この間、乗客の人にどこから来たか聞いたら電車を乗り継いで青森から来たって。地域はもちろん、全国の鉄道ファンにも愛されとった路線だと改めて感じたよ。

新田さん いつもの1両編成じゃ追いつかないから3両編成になってましたね。

辻駒さん あの姿を見ると昔を思い出して、つい手を振りたくなる。私が出たところ、三次までの唯一の交通手段。三江線に乗って当時三次にあつた『げんだデパート』に連れて行ってもらうのがどれだけ楽しかったか。

新田さん 尾関山で下車して『げん

だデパート』に行つて、三次から帰るのが当時の大イベントでした。式敷駅でも昭和30年代には駅前の広場で映画を上映したり、賑やかでした。旧双三郡からも川を渡ってくる人がいたから、利用客も多かった。

竹川さん 廃止になると聞いた時は、地域の責任も感じましたよ。車の社会の便利さの中で三江線を利用することが減ってしまった。

辻駒さん 今月、ある会議に出るために香淀駅から石見川本駅まで三江線を使ったんですよ。改めて車窓からの景色の素晴らしさを実感した。その反面、1時間に1本も通らない不便さも感じたよ。人が減る、ダイヤが減るの悪循環やね。

新田さん 寂しがってばかりもいられんから、前向きにこれからのこ

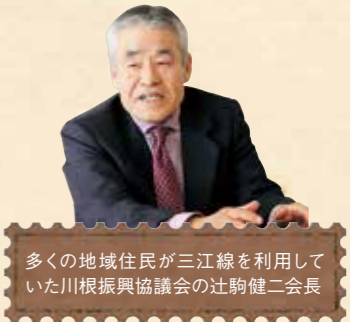
とも考えていかないと。まずは代替バスが運行するけれど、これを持続可能な公共交通にするために我々も頑張らないと。

残された鉄道資産をどう活かすかも、これから考えていくこと。生え放題の線路沿いの木を整備して観光列車やトロッコ列車を走らせたり。アイデア次第で人を呼べる観光資源になる。

辻駒さん それには安芸高田市と島根の邑南町、美郷町なんかの沿線自治体が協力する必要があるね。

竹川さん 三江線にゆかりのある地域と連携すれば、地域を活性化するひとつの起爆剤になりうるかもしれないしね。

みなさん 我々も前を向いて進んでいきましよう!



多くの地域住民が三江線を利用していた川根振興協議会の辻駒健二会長



船佐駅のある船木振興会の竹川信明会長



式敷駅、信木駅、所木駅がある下佐振興会の新田俊晴会長